

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020121

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	7	高齢者支援の充実	事業優先度	C		
単位施策	3	社会参加の促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	老人福祉センター整備調査研究事業					
事業期間	平成26年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	整備調査件数					
事業目標	整備調査件数1件					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	5 保健福祉課		
			関係課	11 町有施設整備室		
				#N/A		
			関係例規・法令名	2 ソフト事業		
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	老人福祉センターの整備調査		整備調査	整備調査	整備調査	整備調査
	老人福祉センターの老朽化のため、新たな施設を建築するための準備を進める。					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	300	0	0	100	100
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	300			100	100	
一般財源	300			100	100	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	0					
	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
			(実施内容等) 新たな施設建設に向けた情報収集	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
			※事務事業評価結果 A-継続/拡充	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続	年度目標値	整備調査件数1件	整備調査権数1件	整備調査件数1件	整備調査権数1件
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	0%	0%
	第6期計画への継続	全体達成率	0%	0%	0%	0%
		事業進捗状況	☆☆☆☆			

事業名	老人福祉センター整備調査研究事業	評価者	管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田通敏
		評価者	作成者 職氏名	社会福祉係長	内宮真希

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	高齢者の社会活動拠点となる施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	整備調査件数	
【抱える課題やニーズは】	老人福祉センターが老朽化している	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	新たな施設を建設するため、ニーズに応じた情報を収集する	① 整備調査件数	目標年度	平成26年度
			目標値	1件
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町のニーズに応じた老人福祉センターが整備されること	②	実績値	1件
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	整備調査	新たな施設建設に向け、先進施設の情報収集を行った。	目標年度	平成26年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	老人福祉センターの整備は高齢者の健康増進や教養の向上に必要な不可欠なものであり、その建設実現に向けて整備調査を町が行うことは重要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	新たな老人福祉センター建設へ向けた情報収集を行うことができた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	先進地の情報収集を行っている段階であり、経費は最小限に抑えられている。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	目標とする施設は全ての高齢者が利用できる施設であり、本調査研究は公平と判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	A	
	建設を実現するにはまず情報の収集が不可欠であることから、調査研究に先立ち先進施設の情報収集を行った。	

今後の展開方向
(Action)

	継続/拡充	
	前年度に行った調査をより進めるため、次年度も施設整備に向けた調査及び研究が必要である。今年度についてはより一歩進めて、町外への視察を含めた調査研究を行う。	

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止